

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：財務課

担当名：財産管理担当、施設整備担当

内線：6648

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B12	県立学校体育館整備費			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校体育館整備費		
事業期間	昭和58年度～	根拠法令	なし				宣言項目			
							分野施策	030622 質の高い学校教育の推進		
1 事業概要 建設後長期間経過し老朽化の激しい県立学校の体育館について、改修工事を実施し、学習環境の整備を図る。 県立学校の体育館は、建設後30年経過したものが多く屋根・外壁の雨漏り、床面の波打ち、外壁の剥落など老朽化が進行しており、建物の長寿命化や学習環境の整備を図る上で、計画的に老朽改修を実施する必要がある。 また、全国の体育館ではく離れた床板が体に突き刺さり、重傷を負う事故が発生している。安心・安全確保のため、適切な体育館等の床板維持管理体制を整備する必要があり、長期的な改修計画に基づいた改修を行う。 (1) 体育館整備費 △50,908千円 工事請負費に係る入札差金等による減額				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 体育館整備費 改修設計、改修工事 636,104千円 イ 床板改修工事 135,000千円 (2) 事業計画 ア 老朽化が進んでいる体育館について、改修工事を実施する。 イ 木製床板の施設について10年サイクルのサンダー掛け及びウレタン塗装を実施する。 ウ 平成30年度 (7) 改修設計 3校4棟 大宮中央高、鳩ヶ谷高、三郷特支 (4) 改修工事 3校3棟 鷺宮高、三郷工業技術高、本庄特支 (ウ) 床板改修工事 25校 (3) 事業効果 児童・生徒の安全の確保、建物の長寿命化と維持修繕の低減 ア 平成29年度：改修設計 4校 4棟、改修工事 6校 6棟、 イ 平成28年度：改修設計 5校 5棟、改修工事 6校 6棟、緊急修繕対応10施設 ウ 平成27年度：改修設計 5校 5棟、改修工事 6校 6棟 (4) 補正予算の概要 ア 体育館整備費：工事請負費に係る入札差金等による減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 防災対策事業債(435,000千円)の元利償還金の30%が後年度基準財政需要額に算入される。										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△50,908	県 債							△1,908	720,196
現計額	771,104		629,000						142,104	